



Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

# 群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第133号 2018年7月発行

## 巻 頭 言

### 「作業療法」の実践と精神科作業療法の課題について

群馬医療福祉大学リハビリテーション学部

高坂 駿



梅雨の合間に精神科作業療法プログラムで畑作業を行いました。快晴で、気温は28℃。少し風が吹いていて心地のいい日です。やや霞みがかかった赤城山をバックに、熱心に草むしりをする人、ウォーキングで体力づくりをする人、軽い体操で息抜きをする人など、患者様が思い思いにプログラムへ参加しています。

普段、屋内にすることが多く、臨床業務の少ない私にとって、こうして患者様と一緒に身体を動かし、作業を共有できる時間はとても貴重に思えます。患者様の十人十色の個性や悩み、生活課題などが作業を通して伝わってきます。個々の課題について細やかな支援の必要性を感じると同時に、現行制度上、個別対応がしづらい精神科作業療法のシステムに対し、「個別作業療法加算(仮)があったら、もっと対象者の個性や価値観に沿った、幅広い介入ができるのになぁ」と、ジレンマも感じます(そう感じる精神科作業療法士は少なくないはず)。

2ヶ月ほど前に、日本作業療法士協会の社員総会において作業療法の定義が、「人々の健康と幸福を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点を当てた治療、指導、援助」と改定され、その註釈には「作業には、人々ができるようになりたいこと、できる必要があること、できることが期待されていることなど、個別的な目的や価値が含まれる」という一文が盛り込まれました。これまでの定義と比較すると、作業の意味合いや、目的や価値を含んだ作業の重要性が強調され、作業療法の在り方が改めて明示されたように思います。

では、精神科作業療法では今後どのような方法で、この定義を体現していくべきでしょうか。現行制度との折り合いをつけ、その方法を見出していくにはまだ時間がかかると思います。しかし、患者様に適切な「作業療法」を提供するために、こうした課題と向き合うことが必要な時期にきていることは間違いなさそうです。今が精神科作業療法の在り方を再考する、いいチャンスなのかもしれません。



# 一般社団法人群馬県作業療法士会 第1回理事会議事録

会 場：群馬医療福祉大学

日 時：平成30年5月23日(水) 19:00～21:45

出席者：理事／新井、関根、山口、市川、勝野、高坂、品田、柴田、高橋、都丸、長谷川  
監事／唐澤、小林

## I. 会長から

### 1. 日本作業療法士会47委員会報告

開催：2018年4月27日、28日 会場：東京TKP

会 場：市ヶ谷カンファレンスセンターTKP

#### 1) 介護ロボットニーズシーズ連絡協議会に関して

- ①群馬県で協議会を立ち上げる
- ②全国で50の協議会を立ち上げる(各都道府県47+3)
- ③約4億円の事業 ⇒1協議会辺り700万円 事業費
- ④協議会の長は作業療法士が行う
- ⑤協議会は年4回行うことが定められている
- ⑧協議会での成果物は厚労省が保有する
- ⑨協議会の推薦枠及び一般枠について
  - a. ロボットの提案 一般枠(アイデア)
  - b. 一般枠⇒推薦枠 (審査)
- ⑩事業年数：3年度事業
- ⑪今後の予定として  
協議会のメンバーを決めていく

6月17日協議会キックオフ会議東京にて

### 2) 日本作業療法士協会精神科作業療法ワーキンググループの発足について

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のありかた」の検討

- ①平成30年度重点課題項目  
テーマ：地域包括ケアシステムに寄与する人材育成体制の確立とその展開  
担当部署：制度対策部  
協働部署：学術部、47都道府県委員会

### 3) 臨床実習指導者研修について

2018年度 全国15か所で開催予定  
次年度以降、各県士会での開催

## II. 各部からの報告事項

### 1. 教育部[柴田理事]

- 1) 審議事項：なし
- 2) 報告事項
  - ①会議報告：4月22日 ブロック長会議
  - ②研修会報告：4月22日 新人症例発表会  
参加者数216名  
(会員146名、新卒34名、非会員7名、学生29名)
- 3) 今後の活動予定
  - ①研修会：現職者共通研修
  - ②日時：平成30年8月5日(日)  
時間：未定(9:00～17:00予定)
  - ③会場：未定

### ④内容

- ・作業療法生涯教育概論講師：柴田に依頼予定
- ・作業療法における協業・後輩育成講師：未定
- ・職業倫理 講師：石川千春OTRに依頼予定

### 2. 福利厚生部[市川理事]

- 1) 審議事項：なし
- 2) 報告事項  
社員総会時の表彰について  
現在、審査について終了していない。  
6月24日の総会には間に合わないため、表彰は総会時には行わない。  
表彰の開催については今後メール審議とする

### 3. 地域作業療法推進部[高坂理事]

- 1) 審議事項
  - ①日本ドリームバスケットボール協会からの後援依頼について  
⇒全会一致で後援承認
- 2) 報告事項
  - ①地域包括ケア推進グループ  
会議開催：4月3日、5月8日実施  
・地域作業療法推進部の運営の流れについて確認し、研修会運営を含めた今年度の活動内容の方向性について意見交換を行い、グループ内の役割分担について決定。  
・グループが今年度予定している、地域包括ケア関連の人材育成研修を平成30年度県学会内で開催できるか、情報収集し、検討することとなった。  
⇒県学会当日、11:10～12:00(50分)の時間帯で、市民公開講座のような形式で研修を実施予定となる。  
講師選定等の検討を進める。  
・本年度実施予定の人材育成研修(3回)についてブロック支部主任者会議との合同開催は見送り。  
・太田市の介護予防事業の主担当者を決定。現在、太田市とサロン日程や講師を調整中。ブロック支部体制の運営状況を踏まえながら、次年度以降の運営方法について東毛ブロック長および担当理事と意見交換を行っていきたい。
  - ②認知症支援推進グループ  
会議開催：5月9日 第1回会議開催。  
・業務運営の流れや平成30年度事業計画について確認を行い、役割分担を決定した。  
・認知症ケアの資質向上研修会は10月、11月、1月の計3回を計画中。  
県内中心部の同一会場で、内容を変えて(基礎4コマ、事例3コマ、応用3コマ)実施予定。
  - ③発達支援推進グループ  
・北部ブロックのブロック長：六本木温子氏(群馬県立小児医療センター)へ変更  
・今年度「外部専門家配置事業」に係る準備

・平成30年5月15日平成31年2月末日までの期間で実施予定(資料1)。

・5月10日の研修会で前橋高等特別支援学校専門アドバイザーの後藤先生と学童期から思春期の生徒やその保護者、先生を対象とした評価表の検討を行い、今年度から活用できるよう進めている。

#### ④精神科領域推進グループ

会議開催:5月11日第1回会議開催

・精神科病院、就労支援事業所、養成校から7名が参加  
・会計および研修会開催を担当を決定し、今後のグループの活動の方向性について意見交換を行った。

・県学会のワークショップ(15:10~16:10)講師について検討した。会議後も、講師候補者リストの作成を継続して行なうとともに、学術部と経費等の兼ね合い等について意見交換を行う。

・グループ長:加藤智弘氏(就労支援事業所ドロップ)

・6月15日~20日に平成30年度「群馬県地域自殺対策強化事業費補助金」の申請書を県に提出予定(昨年10月事前に予算案を提出済)。当初予算案同様の内容で、「普及啓発事業」を2事業申請予定。内容は自殺予防研修会(255,000円)とノベルティグッズの製作・配布(70,000円)、計325,000円。

#### ⑤平成29年度「群馬県地域自殺対策強化事業費補助金」の交付について

前年度、教育部が請け負っていた、当該事業の交付額は309,000円(全額交付)で確定の連絡があった。群馬県健康福祉部障害政策課精神保健室の担当者によると、振り込み日の目安は平成30年5月21日(月)頃とのこと。

### 4.広報部[都丸理事]

#### 1)審議事項

##### ①ニュース編集グループより

今年度より学生会員の制度が開始となり、会員に向けての告知を目的にニュースへ記事として掲載を考えている。掲載は可か、また執筆担当を検討して頂きたい。

⇒掲載は可能。担当は李理事に連絡を。

②13歳のハローワーク社会人アドバイザー依頼について、イベントの様子や来場者の様子、写真等県士会ニュースに掲載する事は可能か。

⇒掲載は可能

#### 2)報告事項

##### ①公益事業グループ

高校生一日体験の受け入れ施設の募集を開始予定。県士会リーフレットについて、残りが0となり、作成の必要あり。今年度は予算内で今までのものを増刷、今年度からデザイン等含めて改訂の検討開始、来年度改定と印刷を予定している。6月中旬にグループ会議を行ない、作業療法フェスタ等の開催時期や内容について検討予定。

##### ②ニュース編集グループ

現在、7月号の発行準備中。

今までと同様の内容で記事を書いているが、企画案など募集中。記事内容の充実化を今年度も引き続き進めていく。7月号では地域作業療法推進部の精神科領域発足に着目した記事を掲載する予定。

#### ③広報企画グループ

・広報部内での連絡を行う際に使用するメーリングリストの検討と作成を行う。

ニュース掲載用に県内で行われている勉強会などの写真や記事の作成を検討する。

継続して他グループとの連携を取りつつ、必要な情報の発信や企画の検討を行う。

### 5.第21回群馬県作業療法学会[市川実行委員長]

#### 報告事項

##### ①学会開催について

日時:平成30年12月2日

会場:群馬大学医学部附属病院

##### ②学会開催進捗状況

実行委員長を中心にコアスタッフに手学会開催概要について取りまとめを行っている。

5月28日 第1回実行委員会を開催する予定。

##### ③企画等

ワークショップ

一般演題

基調講演 について企画進めていく

##### ④SNSの活用について

学会ホームページ運用と同時にFacebookの活用を検討する

### 6.学術部

#### [学術研究グループ]

##### 1)審議事項:なし

##### 2)報告事項

平成30年度の学会支援勉強会の案内文をからっ風通信(4月号)、新人症例発表会冊子に掲載した。現在参加予定者は4名、7月から開始予定。

#### [学会支援グループ]

##### 1)審議事項

今年度の群馬県作業療法学会より従来のホームページの運用に加えて、SNS(ソーシャルネットワーク:Facebook)の運用を開始して良いか(5月下旬より運用予定)。

⇒学会長の決定に従う。県士会としては異論はない

##### 2)報告事項

①今年度の群馬県作業療法学会(12月2日開催)に向けて、実行委員会の役員会を開催した

②今年度より使用する群馬県作業療法学会 運営マニュアルを作成した(別紙資料)。

#### [機関誌編集グループ]

##### 1)審議事項:なし

##### 2)報告事項

①機関誌「ぐんま作業療法研究」の発刊準備のため編集会議を実施した。

- ②機関誌「ぐんま作業療法研究Vol.20,2017」を発行した。
  - ・投稿論文の募集と査読・編集業務を実施した。
  - ・特集の内容検討と原稿依頼・編集業務を実施した。
  - ・巻頭言・その他掲載記事の原稿依頼・編集業務を実施した。
- ③機関誌「ぐんま作業療法研究Vol.20」記念座談会を実施し、座談会内容を掲載した。
- ④機関誌の執筆者へ原稿執筆謝礼金規程に則り、原稿執筆謝礼金の支払いを行った。

### 7.養成校連絡協議会

- 1) 審議事項:なし
- 2) 報告事項
  - ①学生組織との交流会を実施  
4月22日(日)14:45～、高崎市総合福祉センター
- 3) ブロック支部編成に関して  
【審議】  
ブロック支部編成の変更に関して  
【問題となる地区】  
玉村:県士会名簿上…西毛地区  
→群馬県区域 中毛地区  
伊勢崎:県士会名簿上…東毛地区  
→群馬県区域 中毛地区

2次医療圏では伊勢崎・玉村地区で一つの区域だが、県士会の区分ではそれぞれ東毛と西毛に分けられている

### 8.事務局[事務局 長谷川]

- 1) 第8回 総会に関して 議案書 別紙参照  
日時:平成30年6月24日 12:30～  
会場:群馬県生涯学習センター4F 第1研修室  
(第3回部門代表者主任者会議と同一)
- 2) 第3回部門代表者主任者会議  
会場:群馬県生涯学習センター4F 第1研修室  
開始:9:30(受付)10:00開始
- 3) ブロック支部編成に関して
  - ①審議事項  
伊勢崎・玉村地区の区分について。  
伊勢崎玉村が分かれている。2次医療圏に合わせる形での区分の検討が必要  
⇒今回の主任者会議では、玉村地区を「東毛」と区分する 今後のブロック支部編成は引き続き検討を要する

- 4) 運転と作業療法特設委員会について
  - ①委員長の人選について  
2018年度より特設委員会化  
委員長:安原寛和氏 前橋赤十字病院
  - ②群馬県総合交通センター長との面談  
4月16日 総合交通センターセンター長 諸岡新一様
  - ③審議事項  
運転と作業療法特設委員会のHPに関して  
ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会の表記の可否  
⇒群馬県作業療法士会HP内でのページの創設・表記はしない
- 5) 養成校連絡協議会について
  - ①学生会員のページを新設
  - ②会員証は7月から
  - ③所轄部署に関して
  - ④審議事項  
委員会と同じように独立した部署へ移行の検討は可能か?  
⇒養成校連絡協議会を独立させていく方向で準備を進める 学生会員の会員管理は事務局で行う

### III. その他連絡事項

- ①各部員について修正ある場合は連絡を。  
7月頃、委嘱状を発送いたします。
- ②会員名簿 9月末発送予定
- ③次回理事会:7月25日(水)予定  
会場 群馬大学医学部附属病院



## 学術研究グループ 学会支援報告

第52回日本作業療学会に4名の会員が学術研究グループの支援を受けて発表します。  
開催日時は2018年9月7日(金)～9日(日)です。名古屋国際会議場で開催されます。

◎原 大地(前橋赤十字病院)

「J-SDSA得点と認知機能の関連 ―急性期脳損傷患者での検討―」

(口述:スペシャルセッション)

発表日時:9月7日(金曜日)11時10分～12時20分

◎佐藤 里沙(榛名荘病院)

「回復期リハビリテーション病棟に入院した患者におけるトイレ使用自立の予後予測」

発表日時:9月7日(金曜日)13時00分～14時00分

◎高橋 祐紀(沼田脳神経外科循環器科病院)

「急性期脳卒中患者における視覚同期試験と上肢機能との関係」(ポスター)

発表日時:9月7日(金曜日)15時00分～16時00分

◎丸山 真也(沼田脳神経外科循環器科病院)

「急性期脳卒中患者における視覚同期試験とTrail Making Testとの関係」(ポスター)

発表日時:9月7日(金曜日)16時00分～17時00分

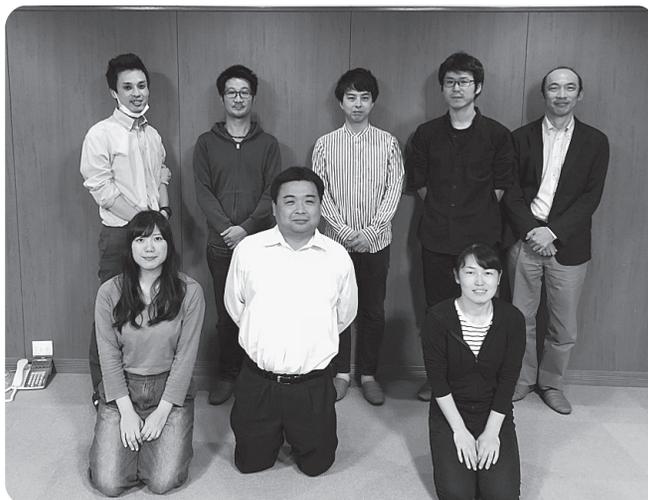
抄録・ポスター・スライド作成など学会発表に関わることは随時相談を受け付けています。

担当 近藤 健(公立藤岡総合病院)、李 範爽(群馬大学)

連絡先:n-reha@fujiooka-hosp.or.jp

## 地域作業療法推進部 精神科グループ 発足!!

今年度より、地域作業療法推進部に精神科グループが発足、活動を開始しました。  
一緒に活動して下さる方を、随時募集しています!!



# 「新人症例発表会」が行われました!

## 「新人症例発表会を終えて」

医療法人大誠会 介護老人保健施設大誠苑 小林瑞穂

今回の発表を通して自分の考えをまとめ、分かりやすく伝えることの重要性や難しさを感じました。伝えたいことを限られた時間や文章の中で簡潔かつ分かりやすく伝えるためには必要な情報を見極め、表現方法を考える必要があると学ぶことができました。情報伝達という視点では利用者のご家族や多職種との情報共有時にも必要になってくるため今後も考えていければと思います。また1人の症例について文章化することで視覚的に分かりやすく、情報を整理することができました。

準備の中で先輩方にアドバイスを頂き、発表会の中で他の病院・施設のセラピストの発表や意見を聞くことで様々な視点・アプローチを学ぶことができたため今後の臨床に生かしていきたいと思います。貴重な経験をさせていただき、利用者様、関係者の皆様に感謝いたします。

## 「新人症例発表会を通して」

日高病院 渋谷研吾

今回の一症例を通して、脳画像から予後予測を考えることや、身体機能・認知機能などから必要な評価項目を選定し、評価結果に基づいてプランを立てるといった難しさを学ぶことができました。

困難であったことに関しては、初回評価と最終評価が自身の立てた予後予測とは大きく異なったことです。その際に上司や他療法の先輩から装具についての知識やどのような評価が足りなかったのかなど、様々な意見を頂くことができました。結果として、様々な仮説を立てることは可能でしたが、直接的な要因はわかりませんでした。その時に私が感じたことは、一つの現象は様々な要因が重なり一つの障害に繋がっているということ、他療法と協働し、一つの目標に向かって尽力していくことが重要であると感じました。

発表に関しては、症例を見ていない方々へ短い時間で簡潔に、どのように伝えるべきであるか試行錯誤し発表を行うことや、座長を含め様々な先生方から意見を頂き、今後、患者様を評価する上での視点や考え方を再認識し、学ぶことができました。

## 「新人症例発表会を聞いて」

医療法人 大和会 西毛病院 重度認知症デイケアなのはな 辻千鶴子

今回、新人症例発表会を聞いて、質疑応答で多いと感じたのは、退院後のサポートについてでした。退院したから介入を終えるのではなく、退院後も他施設や家族と連絡を取り合い、退院後の様子や入院中の情報を共有すること、また、他職種の方ともサポートしていく為にカンファレンスやカルテを通して「リハ以外の時間にもこうしてほしい」と情報を共有し、同じ目標に向かって行く事が大切だと改めて感じました。OT介入では自宅の環境に似た環境下でADL/IADLの練習を行うかがいかにその方の将来像に影響するのを実感しました。職場でもスタッフ・家族と情報を交換し合い、その方のQOLや機能を維持するためにデイケアで日常生活に類似した時間を過ごしていただくようにサポートしていきたいと思いました。

## 群馬リハビリテーション病院

### 【病院の概要】

吾妻郡は複数の温泉地を有しており、自然豊かな地域である一方、人口の減少や高齢化が進んでおり、医療の重要性が求められる地域でもあります。そうした状況の中、昭和37年に群馬県医師会により、46床の小さな病院として開設致しました。55周年を迎える現在では、196床(回復期病棟156床、療養病棟40床)の病床を持ち、1年365日患者さん一人一人にリハビリテーションを提供できるまでになりました。温泉地として病院内に温泉棟を有しており、また体育館・温水プールなどの施設も充実しております。「まごころ・ふれあい・おもしろい」の基本方針の下、専門スタッフがチームを組み、社会復帰・在宅復帰を目指し日々取り組んでおります。

また、地域貢献にも努めており、吾妻郡内での介護予防教室や、中之条町営の介護老人保健施設「ゆうあい荘」の協力病院としての人材派遣、郡内各施設間のセラピストの交流会の開催、中之条町の行事「千人踊り」や「まちなか5時間リレーマラソン」への参加など、多岐に渡り実施しております。

休暇制度や保育制度も充実しており、職員間の交流の一環として、夏の納涼会やスポーツ活動(フットサル・バドミントン)なども行っています。

### 【リハビリテーション部門】

作業療法士48人 理学療法士58人

言語聴覚士15人 MST(健康運動指導士)2人

### 【作業療法部門の紹介】

当院では脳血管疾患等リハビリテーション料(I)、廃用症候群リハビリテーション料(I)、運動器リハビリテーション料(I)を算定しており、幅広く患者様の受け入れを行っております。重症の方も多く入院されますが、出来る限り在宅復帰出来るよう、日々全力で介入しています。

随意運動介助型電気刺激装置(IVES)・上肢用ロボット型運動訓練装置(ReoGo-J)など、先進機器を導入しており、生活に必要な機能の獲得に活用しています。

社会復帰に向けて、ドライブシミュレーターを利用した自動車運転再開支援や、復職支援、調理・洗濯などの家事動作など、退院後の生活を想定した訓練にも力を入れています。

地域柄、農家の方も多く入院されるため、馴染みのある活動として園芸療法も行っています。

作業療法部門では、部門内での勉強会や県内外への研修会への参加を実施しています。個々人の意欲も高く、作業療法士としてのスキルアップに繋げています。

スタッフ間でコミュニケーションを大事にしながら、患者様の笑顔のための医療を目指して、明るくいきいきと日々取り組んでいる、アットホームな職場です!



# 大学院社会人学生募集中



当研究室は、運動生理学手法を用いた上肢機能解析を中心に、身体障害作業療法分野全般の研究を行っています。ベテランから新人まで多くのOTが仕事と研究を両立、修士・博士課程に在籍しています。身障分野の臨床研究に関心のある方は、ぜひ大学院で自分の可能性に挑戦してみたいかがでしようか。

毎週木曜日の勉強会は一般公開していますので、ご興味のある方はご見学下さい。

群馬大学大学院 保健学研究科  
教授 李範爽  
leebumsuk@gunma-u.ac.jp

# 仕事以外の時間も大切に 過ごしたい方

私たちと一緒に  
働きませんか？

PT-OT募集 ①訪問看護ステーション所属のリハビリ業務 ②デイサービス所属のリハビリ業務

決められた時間内に効率よく働き、家族と過ごす時間や自分のための時間を大切にしたい人が働きやすい環境が整っています！

### 勤務地

- 前橋・高崎・渋川・伊勢崎エリア または 桐生・みどり・太田・足利・大泉エリア
- 桐生市 または 前橋市

### 給与

基本給＋資格手当＋実績手当  
**260,000円～**  
(正社員・パートは勤務時間により変動)  
経験考慮いたします

### 休日・休暇

- 年間120日以上
- 土・日・祝日(12/23,成人の日は除く)
- 夏季休暇、年末年始
- 特別検診等休暇、参観休暇、介護業しんで休暇、ババ産休など独自の特別有給休暇
- 年次有給休暇取得率75%(平成27年度実績)

### ココロの特徴

- ★「お互い様」の風土が根付き、急病など突然のお休みへのフォロー体制が整っています。
- ★決められた時間内で効率よく働くことを重視。1ヶ月あたりの平均残業時間は1時間未満です。
- ★有休を積極的に取得し、たくさん遊びに行くことを推奨しています。

### 勤務形態/勤務時間

- 正社員/8:30～17:30 ※8:00～18:00の間で調整可
- 準社員/8:30～17:30のうち4.5時間以上 小学校卒業までの子を持つ親または同居家族の介護を行っている場合
- パート/8:30～17:30のうち3時間以上

### 待遇・福利厚生

- 各種保険加入(健康保険、労災保険、雇用保険、厚生年金保険)
- 退職金制度あり ■賞与年3回(昨年度実績)
- 保育士常駐の無料社内託児室
- 訪問所属は直行直帰制度あり
- フィットネスジム割引 ■旅行手当 など

### 研修・キャリアアップ支援制度

- 入社後半年間のプリセプター制度
- ビジネスマナー研修、メンタルヘルス勉強会、社長勉強会など勤務時間内の様々な勉強会
- 症例発表、職種別勉強会など専門分野の研修
- 外部研修参加費、交通費、宿泊費の補助(回数制限なし)
- 資格手当上乗せ:対象資格は2017年度現在80種類以上
- 試験対策勉強会など、新たな資格取得をサポート。ケアマネ、介護福祉士、社会福祉士など毎年合格者が多いです！



研修や子育て支援が充実しているため、プランクのある方や経験年数の短い方も安心して働けます！入社後にプリセプターがつき、訪問では始めのうちは先輩スタッフが同行するので、初めて訪問業務を行う方も安心ください！

### お問い合わせ先

Coco-Lo ☎0277-55-5422 担当:しかり  
受付時間/8:30～17:30(土・日・祝休)  
群馬県桐生市相生町2丁目261-3  
http://coco-lo.net/ 働き方改革への先進的な取り組みで国や県からの受賞実績多数。ぜひ一度弊社ホームページをご覧ください！

# 投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した...などなど、皆様からの投稿を募集しております。

どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: dc\_nanohana@yahoo.co.jp  
広報部・ニュース編集グループ  
反町拓海

県士会ホームページアドレス  
[www.gunma-ot.com](http://www.gunma-ot.com)

## 編集後記

先日始まったばかりと思っていた今年も、あっという間に半分が終わり、後半になった。

広報部としては、毎年後半が部の活動として本格化してくる傾向にあり、今年も「高校生OT体験」、「健康フェスタ」、「OTフェスタ」と多くの活動を控えている。広報部員だけでなく、県士会員の方ならばどなたでも運営としてのサポート、ふらっと遊びに来るだけでも良いので、少し皆さんにも興味を持って頂ければと思う。

徐々に暑さが厳しくなりますので、身体を大切に、日々の生活を送っていきましょう。 S

## 群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 中村 真美、関 仁紀、下田 幸、吉澤 一郎 印刷 || 星野印刷株式会社